



MOROYAMA PHOTO SNAP NEWS

みんなで一緒に楽しいひと時を あったかオレンジカフェが再開しました

認知症の人や、そうでない人も利用できるオレンジカフェ。町内4か所ある内の1つ、あったかオレンジカフェが再開しました。体操、合唱、ゲームなどが行われとても賑やかな雰囲気でした。

「普段は家で終日テレビを観ているばかりなので、こういった場所があるのは有難い」という利用者の声も聞けました。



▲お手玉を使ったレクリエーション。「若いころはできたのに」と悔しがっている場面です。



▲「今日の参加者は女性のみなので、パパ抜きではなく、ジジ抜きをしましょう」と言って始めました。勝っても負けても大盛り上がりです。



▲やわらかいボールを使ってエクササイズ。それぞれのペースで指先や体を動かしました。

犯罪や非行のない社会を願って 社会を明るくする運動が行われました

罪を犯した人も、裁判を終え、処分を受ければ、いずれ社会に戻ってきます。罪を償い、再出発を誓った人たちの立ち直りを支え、再び犯罪や非行に陥るのを防ぐ取組を「更生保護」と言います。

更生保護の理解を深めるため「社会を明るくする運動」が、7月3日、毛呂山町の保護司・更生保護女性会が中心となって実施されました。当日は学校訪問とスーパー入り口付近で、更生保護に関するチラシや啓発品を配布し、理解促進を呼びかけました。



井上町長が関東町村会会長に 選任されました



7月31日、井上健次町長が関東町村会会長に就任しました。任期は7月31日から令和6年7月30日までの1年間となります。

関東町村会とは…

1都7県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県）の町村長で構成され、国への要望活動などを行っています。

多年にわたる功績を称えて

退任された行政相談委員へ感謝状が贈呈されました

6月26日、行政相談委員として行政相談制度の発展に寄与され、令和5年3月31日をもって同委員を退任された川村和男さんに対し、「総務大臣感謝状」が総務省関東管区行政評価局長より贈呈されました。川村さんは、平成31年4月から4年にわたり、行政相談委員として公正・中立の立場から町民の相談相手となり、行政サービスに対する苦情や相談を受け、問題解決の促進に尽力されました。



いつもとは違った授業を体験

小中一貫教育合同研修会が開催されました

6月22日に光山小学校、28日に泉野小学校で小中一貫教育合同研修会が行われました。合同研修会では、中学校教員による小学校への乗り入れ授業を行うだけでなく、校外からもゲストティーチャーを招き、豊富な知識や経験を生かした授業が行われました。下の写真は、川越税務署による租税教室と手話サークル「手の絆」の皆さんによる授業風景です。熱心に学習に取り組む姿が見られました。



◀ 1億円の重さを体験。「これで本当にお金の重みが分かった」と冗談を言い合っていました。(光山小)



▲自己紹介の手話を教わる授業風景。前のめりに学ぶ子どもたちに、大人も応えていました。(泉野小)

もてぎ 栃木県茂木町との意見交換

茂木町議会議員との行政視察が行われました

7月5日、栃木県茂木町から議会会派（政和会）の町議会議員の皆さんが、毛呂山町を視察しました。毛呂山町から、まちづくり政策、農業政策、健幸づくりのまちについて説明した後に、農園や企業誘致場所を視察し、町長や農園経営者との活発な意見交換が行われました。



小・中学生で一緒に学びあう

小中一貫教育陸上教室が開催されました

毛呂山中学校、泉野小学校、毛呂山小学校の児童生徒と、教職員が一体となり「小中一貫教育陸上教室」が行われました。陸上教室では、小学生と中学生と一緒に学習をすることで、小学生は先輩の体の使い方を、中学生は後輩への思いやりの気持ちを学びました。中学生のレベルの違いに、驚きながらも楽しそうに触れ合う姿がたくさん見られました。



▲中学生からボール投げのコツを教わりました。とても遠くまで飛んでいきました。(泉野小・毛呂山中)



▲あっという間に離されてしまい、中学生のすごさを実感。(毛呂山小・毛呂山中)



▲小学生と中学生で走り比べをする様子。跳び方の違いがよく分かります。(毛呂山小・毛呂山中)



▲毛呂中陸上部・清水さんの150センチメートルの高跳びが大成功。素晴らしいお手本に、どよめきの混じった歓声が上がりました。(泉野小・毛呂山中)

短冊に願いを込めて

ゆずの里保育園・子育て支援センターで七夕会が開催されました

7月7日、ゆずの里保育園では七夕のお話と笹を模した缶積みゲームなどが行われました。子育て支援センターでは短冊を飾って遊びました。

